

平成27年度教育研究活動報告書

氏名	信木 伸一	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	教育学修士	職位	教授
専門分野	国語教育学		
Ⅰ 教育活動			
本年度担当科目			
	授業科目		
学部	国語教育学専門演習a 国語教育学専門演習b 卒業論文(構想・準備) 卒業論文(制作) 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 教育原理 教育の方法と技術 教職実践演習		
大学院	国語教育学特論		
Ⅱ 研究活動			
これまでの主な研究業績(5件まで)			
〈著書〉 〈展覧会〉 〈論文〉 〈翻訳〉 〈学会発表〉 〈学術表彰〉 〈その他〉			
(1) 〈論文〉 明治初期教科書『本朝文範』における「普通文」への歩み — “旨趣の標”の近世古典注釈からの継承と近代教科書としての加工 — (『日本教科教育学会誌 第39巻2号』日本教科教育学会 2016.掲載予定) 単著 査読付き			
(2) 〈論文〉 明治教科書『本朝文範』の生成 — 近世からの脈略と明治教科書としての創出 — (『国語科教育 第七十八集』全国大学国語教育学会 2015.9) 単著 査読付き			
(3) 〈論文〉 思考の論理・思想の論理を問題化する読みの学習 — 小説教材を例に — (『国語教育研究 第五十三号』広島大学国語教育会 2012.3)			
(4) 〈論文〉 思考の論理・思想の論理を獲得する読みの学習 — 説明文教材を例に — (『国語教育研究 第五十二号』広島大学国語教育会 2011.3)			
(5) 〈著書〉 全国大学国語教育学会編『新たな時代を拓く 中学校・高等学校国語科教育研究』(学芸図書 2010.12)			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
〈著書〉 〈展覧会〉 〈論文〉 〈翻訳〉 〈学会発表〉 〈学術表彰〉 〈その他〉			
(1) 〈論文〉 明治初期教科書『本朝文範』における「普通文」への歩み — “旨趣の標”の近世古典注釈からの継承と近代教科書としての加工 — (『日本教科教育学会誌 第39巻2号』日本教科教育学会 2016.掲載予定) 単著 査読付き			
(2) 〈論文〉 明治教科書『本朝文範』の生成 — 近世からの脈略と明治教科書としての創出 — (『国語科教育 第七十八集』全国大学国語教育学会 2015.9) 単著 査読付き			
(3) 〈論文〉 明治教科書『本朝文範』の文類 (『国語教育研究 第五十六号』広島大学国語教育会 2015.3) 単著			
(4) 〈論文〉 古典学習における主題単元のテーマの設定 — 「学習者にとっての問題調査」から — (『教育学研究紀要 第60巻』中国四国教育学会 2015.3) 共著			
(5) 〈研究報告書〉 2012～2014年度科学研究費補助金基盤研究(C) 小・中・高一貫の「伝統的な言語文化」の教育カリキュラムに基づく授業創造に関する研究(渡邊春美、信木伸一、武久康高、富安慎吾 2015.3) 共著			
(6) 〈研究報告書〉 これからの教育実習 国語科における教育実習指導の研究(2005～2012) (広島大学附属福山中高等学校国語科 2014.4) 共著			
(7) 〈論文〉 書き手の問いに反応する古典学習(1) — 『徒然草』「花はさかりに」の場合 — (『論叢国語教育学 復刊 第4号』広島大学国語文化教育学講座2013.7) 単著			
現在の研究テーマ(3つまで)			
(1) 明治期国語教科書の研究			
学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績)			
所属学会・所属団体 役職等			
全国大学国語教育学会、日本国語教育学会、中国四国教育学会、広島大学国語教育会(理事)、日本文学協会、日本教科教育学会、尾道大学日本文学会			
Ⅳ 社会活動			
1. 学外活動(本年度1年間の活動状況)			
(1) 尾道市立栗原中学校学校評議委員			
(2) 尾道スクールサポートネットワーク尾道市立大学代表			
(3) 尾道市教科用図書選定委員会委員長			
2. 委員会及び協議会委員(本年度1年間の活動状況)			
	委員会等の名称		
(1) 尾道市関係	尾道市立栗原中学校学校評議委員会 尾道市教科用図書選定委員会		
	委員会等の名称		
(2) 尾道市以外	尾道スクールサポートネットワーク(尾道市立大学代表)		